

「周辺視野での事物の定位に関する視覚心理学的研究」プロジェクト
外部資金等リサーチアシスタント (RA) 募集要項

- 募集対象 : 東京大学大学院博士後期課程及び獣医学、医学又は薬学を履修する
大学院博士課程の学生 (休学中の学生は除く)
- 募集人員 : 1名
- 支給額 : 3万円、5万円、7万円、10万円、15万円のいずれかとする
(委嘱する研究業務内容に応じ、下記委員会において承認された
単価を支給する)
- 委嘱期間 : 2021年4月1日～2022年3月31日 (12カ月)
- 募集〆切 : 2021年1月18日 (月)

プロジェクト名

科学研究費補助金基盤研究(B) (一般)「周辺視野での事物の定位に動的信号がおよぼす影響
に関する視覚心理学的研究」

研究期間: 2018年4月1日～2023年3月31日

研究代表者: 村上郁也

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-18H01099/>

本プロジェクト全体の概要

ボトムアップおよびトップダウンで動的な信号があると、位置の知覚がなぜどのように決まるのか。これが、本研究課題の核心をなす問いである。動的な信号として、位置の知覚に対して効果的にはたらく特性はどのようなものか。心理物理学実験を通してこれらを解明することで、位置知覚におよぼす運動情報の役割に関する情報処理様式を推定することができる。動的な信号によって位置の知覚が影響されたとき、その内容によってさらに変容を来す知覚現象や運動実行が存在するか。心理物理学実験を通してこれらを解明することで、処理のブロック図を描き、異なる情報処理との間の入出力関係を推定することができる。動的な信号によって刺激位置と知覚位置とに乖離が生じたとき、脳内ではどちらがどこで表現されているか。知覚システムにとって「位置」の本質とは何かを、脳地図上の場所として同定することが、機能的脳計測での最終的な目標となる。

RA 研究業務の概要

本プロジェクトでは、視知覚の基礎心理学実験を定常的に行う関係上、プログラミング環境 MATLAB、PsychToolbox 等を用いた画像処理プログラミング能力、画像呈示装置 Bits#、ViewPixx、ProPixx、眼球運動計測装置 EyeLink 等を用いた基礎心理学実験遂行能力、実験協力者 (実験参加者) の募集能力、統計パッケージ R、SPSS 等を用いた実験データ解析能

力、各種事務能力を備えた有能な実験者を必要とする。なかでも、本研究において定常的に
行う実験においては、多数の視覚刺激を同時にコンピュータ画面上に配置して同時に運動
させたり、時間変化する視覚刺激を同一領域に重畳させたりといった呈示方法を要し、また
すべての刺激において0.01秒未満での画像更新を行わなければならないような厳密な時間
的統制を要する。それらの画像処理技術には、極めて高度な専門技術に習熟した人材を必要
としている。そのため、優秀な大学院博士課程生が研究協力者として参加し、研究現場に定
常的に配置されたうえで実験研究作業を遂行することが必要である。

応募書類

応募しようとする者は、指導教員の了解を得た上で、以下の電子書類を〆切までに本件問
い合わせ先宛に提出すること（2～5の書式は任意）。

- (1) リサーチ・アシスタント研究業務計画書（様式1）
- (2) 業績表
- (3) 職歴・受賞歴（TA・RAを含む）
- (4) 習熟しているコンピュータ言語及び視覚実験機材のリスト
- (5) 習熟している外国語のリスト

採否決定・評価に関わる学内組織

大学院人文社会系研究科大学院教務入試制度委員会が、研究計画の可否、研究業務期間及
び支給額の妥当性等を審査し、採否決定・評価の業務を行う。

本件問い合わせ先： 大学院人文社会系研究科心理学研究室 村上郁也

ikuya@l.u-tokyo.ac.jp